

学 校 長 様
会 員 ・ 誌 友 様
教 職 員 様

社会科の初志をつらぬく会（個を育てる教師のつどい）
甲信越地区研究部長 中村 榮三 長野県代表 傳田 伸剛
新潟県代表 大谷 実

甲信越研究集会のご案内

（兼 第63回長野県研究集会）

研究テーマ

『子どもの問いを大事にした授業づくりとは？』
－教師の教材観と子ども理解を視点に－

今日、社会は激変して硬直化しているけれど、子どもは地域の歴史的世界に育っています。ここに視野をおく教材観が子どもの根源的な学びあいの“場”の形成を確立します。（子ども理解を深める教材設定の志向として）
子どもの問いを大事にした授業づくりのポイントは、「その教材や方法にどのような意味や価値をもつのか」を、子どもの問いにする場にするすることで、主体的な問題解決の活路が開けるかと思います。実践を問いかえす要点として検討したいものです。
教育の危機は、人類の危機を引き寄せます。人間の幸せと平和を希求する教育の変革を実践するこの集会へご参加ください。よろしくお願いいたします。

日時 2025年（令和7年） 1月25日（土）～26日（日） 第1分科会のみZOOM参加できます

会場 長野県松本市教育文化センター 長野県松本市里山辺2930-1

宿泊・懇親会 信州 美ヶ原温泉 追分屋旅館 長野県松本市里山辺1145 Tel.0263-33-3378

日程・分科会の内容

1日目（1/25（土））

12:00～12:30 受付

12:30～13:00 開会行事
オリエンテーション

13:00～
17:00 分科会Ⅰ

移動（追分屋旅館へ）

18:30～20:30 夕食・懇親会

20:30～ 交流会

第1分科会 小5・社会 提案者 清塚 大暁（新潟県小千谷市立小千谷小学校）

「情報を伝える人々とわたしたち」
～情報を伝える新聞社～

テーマ まわりとの関わりの中で、自分の思いや考えを確かにする子

その子のもつ見方・考え方を大切にしながら学習を進めてきた。M子は問いをもつことができていたのか。子どもたちは、いきいきと学ぶことができていたのか。そもそも、教師は子どもを捉え育てることができていたのか。

こちらの分科会のみ、オンライン（ZOOM）での参加も可能です。

第2分科会 小6・社会 提案者 漆原 史剛（新潟県見附市立見附小学校）

「みらいへつなぐ 戦争から学んだこと」

テーマ 自分の考えにこだわり、追求する子どもの姿を目指して

「戦争中の子どもの生活」を中心教材として単元を構成し授業を行った。
T男は、授業において目指す姿に迫っていたのだろうか。

2日目（1/26（日））

8:45～9:00 受付

9:00～
10:50 分科会Ⅱ

テーマに関わる意見交換会

11:00～
12:00 テーマ 教師の教材観と子ども理解を視点に

12:00～12:15 閉会行事

問題提起者 中原 功博（長野県飯田市立上村小学校校長）
コーディネーター 松本 康（信州大学教育学部教授）

申し込み等

- ・参加費等 徴収しません
- ・宿泊懇親会 17,000円（懇親会のみ 8,000円 宿泊されず、懇親会のみ参加の方）

※予約の関係で、宿泊や懇親会参加を希望の方は令和7年1月15日（水）までに下記事務局メールアドレスへメールでお申し込みください。確認の返信とレポートの事前送付をしますのでお願いします。
※日帰り参加の方も、レポートを事前に送付しますので、メールにて1月20日（月）頃までにお申し込みをお願いします。

申し込み先 長野県研究集会事務局 長谷川 泰彦 宛（松本市波田ひがし保育園勤務 電話0263-92-5740）
事務局メールアドレス naganoshoshinokai@yahoo.co.jp（長野初志の会）

申し込み記載事項 お預かりしました個人情報、集会に関する緊急連絡及び集会のご案内等の目的以外には使用いたしません。

甲信越研究集会（兼 長野県研究集会）参加申込書

- ①お名前（学校名等） ②参加分科会 ③参加日数 ④宿泊の有無 ⑤懇親会参加の有無 ⑥携帯等連絡先
※第1分科会（小5・社会）にご参加の方は、参集かZOOM参加かもお知らせください。